

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2002-523385(P2002-523385A)

【公表日】平成14年7月30日(2002.7.30)

【出願番号】特願2000-566220(P2000-566220)

【国際特許分類】

C 0 7 C 5/27 (2006.01)

C 0 7 C 15/08 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 5/27

C 0 7 C 15/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月2日(2006.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

供給原料

一般に、エチルベンゼン及びキシレン類を含有する芳香族C₈混合物はいずれも、本発明の方法への供給原料として使用することができる。一般に、このような供給原料混合物は、典型的には0重量%乃至30重量%のC₉⁺芳香族含量、5重量%乃至50重量%のエチルベンゼン含量、0重量%乃至35重量%のオルト-キシレン含量、20重量%乃至90重量%のメタ-キシレン含量、及び0重量%乃至25重量%のパラ-キシレン含量を有する。例えば、供給原料は、10重量%乃至15重量%のエチルベンゼンを、キシレン類及びC₉⁺芳香族からなる残部と共に含み得る。好ましくは、供給原料は、少なくとも30重量%、より好ましくは少なくとも50重量%のメタ-キシレンを含む。この基準に合致する供給原料は、「メタ-キシレンに富む」供給原料と称される。さらに、上記C₈芳香族混合物に加えて、供給原料は、非芳香族炭化水素類、すなわち、ナフタレン類及びパラフィン類を30重量%までの量で含み得る。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

図1は、当技術分野に公知のキシレン異性化方法を示し、ここにおいて、C₈⁺芳香族類からなる供給原料110をキシレンスプリッター112へ供給し、ここにおいて、C₉⁺芳香族類及びオルト-キシレンを主要な原料流れ114から除去する。C₉⁺芳香族類及びオルト-キシレンは、オルト-キシレン塔116において分離され、そして、副産物としてその方法から取除かれる。主要な原料流れ114は、次に、パラ-キシレン回収ユニット118において処理され、ここにおいて、パラ-キシレンは、生成物120として供給原料から除去される。残りの供給原料は、異性化ユニット122において処理され、ここにおいて、供給原料中のキシレン類は、熱平衡濃度へ転化され、そして、エチルベンゼンは、より炭素数の小さい芳香族類へ転化され得る。ベンゼン126及びトルエン128は、異性化ユニット124の流出物から分離され、そして、潤滑した流出物130は

、キシレンスプリッター 1 1 2 の上流で、供給原料 1 1 0 へ戻されて再循環される。